

## 平成 22 年度第 2 回北区まちづくり協議会全体会 意見交換の概要

## 1 グループ討議

## &lt; Aグループ &gt;

岩倉・太平百合が原会長、長島・新川会長、星野・老人クラブ連合会会長、小泉・暴力追放運動推進協議会会長、湯浅・社会協議会事務局長、各所長（太平百合が原、新川）

- ・ 自主防災組織の拡大（各種団体を含む）
- ・ 災害時の連絡体制づくり
- ・ 高齢者の安否確認方法
- ・ 一人暮らし高齢者、老人ホーム等大型施設 避難方法のマニュアルづくり
- ・ 高齢者の避難方法～図上訓練の実施
- ・ 避難場所の周知徹底
- ・ 動物の保護

## &lt; Bグループ &gt;

松井・拓北・あいの里会長、久間・新琴似会長、伊藤・体育指導員会会長、茅根・交通安全協会事務局長、加藤・民生児童委員協議会会長、新枝・日赤北区分団長、各所長（拓北・あいの里、新琴似）

- ・ 避難（自分を守る）
- ・ 避難場所へ
- ・ どこへ？水食糧は？いつ助けが来る！
- ・ 情報連絡体制の構築
- ・ 今から団体間の連携が必要
- ・ 単町、日赤、民児協、消防団、災防協
- ・ 日頃からの訓練の繰り返しが必要

## &lt; Cグループ &gt;

田口・新琴似西会長、宮崎・麻生副会長、遠藤・防火委員会会長、佐藤・子ども会育成連絡協議会会長、各所長（新琴似西、麻生、鉄西）

- ・ 個人として災害時にどう動くのか考えておく
- ・ 災害時の情報収集と伝達方法
- ・ 地域内における仕事の振り分け

## &lt; Dグループ &gt;

永野・幌北会長、三澤・篠路会長、森・北区災害防止協力会会長、角川・災害防止協力会副会長、大石・青少年育成委員会連絡協議会議長、小鍛冶・健康づくり協議会副会長、庵跡・交通安全母の会会長、各所長（幌北、篠路）

- ・ それぞれの立場でのシミュレーション
- ・ 自主防災組織の結成、役割確認
- ・ 収容避難場所の耐震化の確認
- ・ 要援護者の把握
- ・ 災防協との協力体制（訓練参加見学）

## < Eグループ >

赤松・北会長、大島・屯田会長、石井・食改善推進員協議会会長、金森・北消防団長、喜多・子育てワーカーズプチトマト代表、坂田・防犯協会連合会副会長、各所長（北、屯田）

- ・災害時の情報伝達検討（携帯は使えるの？）
- ・災害時要援護者を含む住民状況把握（耳の不自由な人への情報伝達）
- ・冬期間を含む日頃からの訓練実施
- ・自主防災組織の活性化、見直し（マップ、住民への周知）

## 2 出された意見の整理

### 避難場所

- ・収容避難場所の耐震化の確認（D）
- ・避難（自分を守る）（E）

### 自主防災組織

- ・自主防災組織の拡大（各種団体を含む）（A）
- ・自主防災組織の結成、役割確認（D）
- ・自主防災組織の活性化、見直し（マップ、住民への周知）（E）

### 防災訓練の充実

- ・日頃からの訓練の繰り返しが必要（B）
- ・個人として災害時にどう動くのか考えておく（C）
- ・それぞれの立場でのシミュレーション（D）
- ・冬期間を含む日頃からの訓練実施（E）

### 災害弱者の支援

- ・高齢者の安否確認方法（A）
- ・高齢者の避難方法～図上訓練の実施（A）
- ・要援護者の把握（D）
- ・災害時要援護者を含む住民状況把握（耳の不自由な人への情報伝達）（E）

### 災害時の情報共有（収集）

- ・災害時の連絡体制づくり（A）
- ・避難場所の周知徹底（A）
- ・一人暮らし高齢者、老人ホーム等大型施設 避難方法のマニュアルづくり（A）
- ・情報連絡体制の構築（B）
- ・災害時の情報収集と伝達方法（C）
- ・災害時の情報伝達検討（携帯は使えるの？）（E）

### 団体間の連携

- ・単町、日赤、民児協、消防団、災防協（B）
- ・今から団体間の連携が必要（B）
- ・災防協との協力体制（訓練参加見学）（D）

### その他

- ・動物の保護（A）
- ・地域内における仕事の振り分け（C）